

平成30年度 学校評価報告書（目標設定）

県立藤沢西高等学校

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒一人ひとりの確かな学力の育成と進路希望の実現に向け、学年制普通科としての教育課程の整備に取り組む。</p> <p>②生徒の課題発見・解決力及び、主体的に学ぶ意欲を高めることを目指し、組織的な授業改善に取り組む。</p>	<p>①学力の向上と進路希望の実現に向けた教育課程を編成し、生徒の学習意欲や探求心を高める環境を提供する。</p> <p>②授業改善を進め、基礎学力の定着と主体的な学習の取組を支援する。</p>	<p>①(1)教育課程の変更に伴い、生徒の適切な科目選択を支援するとともに、学力向上のための授業時間確保を図る。また、次期学習指導要領の理解を深める。</p> <p>(2)カリキュラム検討会において「高大接続テスト」の導入に向けた研究を進め、それに向けた授業改善を図る。</p> <p>②(1)授業開始の挨拶を励行し、チャイムと同時に集中した授業を開始する。</p> <p>(2)教員相互の授業参観・研修会の実施と「生徒による授業評価」の有効活用を進める。</p> <p>(3)日常的に自宅学習課題を配付するとともに、「定期テスト前のフォローアップ週間」「夏期講習」を計画的に実施する。</p>	<p>①(1)授業時間が確保され、生徒の学力・学習意欲の向上が見られたか。また、選択科目の説明会を計画的かつ効果的に実施できたか。 (「学校に関するアンケート(以下『アンケート』という)生徒満足度50%以上)</p> <p>(2)「高大接続テスト」の研修や対策の為に体制ができたか。</p> <p>②(1)始業時の挨拶が定着し、授業中の集中力が高まったか。</p> <p>(2)授業改善を積極的に進めることができたか。</p> <p>(3)学習習慣が身に付き積極的に学ぶ生徒が増加したか。(「生徒による授業評価」の有効活用ができたか。 (満足度80%以上))</p>
2	生徒指導・ 支援	<p>①生徒の豊かな人間性・社会性を培うために、規範意識を育成するとともに、社会の一員として自他を尊重し、自身の将来像を描く力を育てる。</p> <p>②生活全般の安全意識の向上に向けた取組みを進め様々な課題に対し、解決に向け取り組む意志や実践していく力を育てる。</p> <p>③各種機関・保護者と連携しながら生徒理解を深め、教育相談・支援体制の充実を図る。</p>	<p>①生徒一人ひとりの豊かな心を育み、規範意識・自己教育力を育てる。</p> <p>②登下校の安全意識・交通安全意識の向上を図る。</p> <p>③個に応じた支援・相談体制を充実させる。</p> <p>(2)十分な生徒相談・教育支援を行えたか。(『アンケート』生徒満足度50%以上)</p>	<p>①(1)学校行事の将来像を再構築するとともに、部活動の充実をはかる。</p> <p>(2)時間管理の意識を高め、遅刻指導や部活動終了後の下校指導を徹底する。</p> <p>(3)挨拶に対する意識の向上をはかり、お互いや来校者への挨拶を励行する。</p> <p>②(1)不審者や事故の情報を提供する。</p> <p>(2)通学経路の安全や服装の指導、「交通安全教室」の内容を検討する。</p> <p>③(1)「いじめ防止基本方針」及び「同対策マニュアル」に基づき未然防止に向けた取組みを行う。</p> <p>(2)教育相談コーディネータを中心とした教育相談体制を整備する。</p>	<p>①(1)学校行事と部活動の達成感と満足感が例年通り、高い水準にあるか。</p> <p>(2-①)遅刻数が減少し、下校時刻を守ることができたか。</p> <p>(2-②)校内・校外を問わず積極的でさわやかな挨拶を交わす習慣が身に付いたか。</p> <p>②(1)犯罪被害や交通事故の防止に効果を挙げられたか。 (『アンケート』生徒満足度50%以上)</p> <p>(2)いじめ防止に向けた方針及び取組内容が職員に周知され組織的にいじめに対応できたか。 (『アンケート』生徒満足度50%以上)</p> <p>③十分な生徒相談・教育支援を行えたか。(『アンケート』生徒満足度50%以上)</p>

				(3) スクールカウンセラーや専門機関との連携、各種講演会の開催を通してきめ細かな教育支援を行う。	
3	進路指導・支援	生徒一人ひとりが自己の生き方、あり方についてとらえることができるよう、計画的・継続的なキャリア教育を推進する。	①全教科で取り組むキャリア教育実践プログラムを実施し、検証していく。 ②職業観・勤労観を育てる。 ③より一層の進路実績の向上を図る。	①キャリア教育において身につけるべき諸能力を育成することを意識した教育活動の展開に努める。 ②自己の適性や学びの必要性を認識させ、自己の進路実現に向けて、各学年に対応した進路ガイダンスの充実を図る。 ③生徒の進路実現に向けて、スタディサポートの指標を生かしながら、各教科により自宅に取り組む課題を配付して学習習慣の定着を図る。	①教育活動の様々な場面で社会生活・職業生活に必要な技術・技能を育成できたか。（『アンケート』生徒満足度50%以上） ②生徒が自己の生き方やあり方について考えるのに有効な機会を十分与えられたか。 ③(1)生徒が自らの課題を学習につなげ、進路希望実現に向けた主体的な学習活動に取り組めたか。 (2)自宅学習を継続して行う習慣が身に付いたか。
4	地域等との協働	①開かれた学校づくりを進め、家庭や地域と情報を交換する中で、相互理解と協力体制を確立しさらに進展させる。 ②HPや「お知らせメール」による、タイムリーな情報発信により地域からの理解を得るよう努める。	①学校行事全般を通して地域や保護者との連携を深め、開かれた学校づくりに努める。 ②学校の情報を確実に発信し、地域や保護者からの意見要望を参考に、より良い学校づくりを行う。	①(1)学校へ行こう週間、PTA活動、保護者懇談会、学校行事、部活動等を通して、地域・保護者との連携を図る。 (2)授業公開の実施により本校の様子を広報するとともに、授業改善につなげる。 (3)「春一番の音楽会」「遊ing西高」の取り組みを学校全体で支援する。 ②(1)生徒・保護者への配布物、HPの頻繁な更新、「西高お知らせメール」などで本校の活動の情報発信を行う。 (2)保護者、地域からの情報や意見等を生かし本校の発展に努める。	①(1)本校の『アンケート』保護者満足度が昨年度を上回ったか。 (2)中学校関係者や教育機関専門家からの評価や助言を授業改善に繋げることができたか。 (3)「春一番の音楽会」「遊ing西高」において、校内生徒・職員のボランティア参加者が増加し、地域参加者や地域支援者の満足度が向上したか。 ②(1)本校HP更新回数とアクセス数、および「西高お知らせメール」の登録数が昨年度より上回ったか。 (2)保護者・地域からの情報を生かし改善がなされたか。
5	学校管理 学校運営	①事故防止の徹底を図るとともに、教職員が前向きに課題に取り組む学校文化を形成する。 ②生徒の防災意識を高め、安全対策を強化する。 ③耐震化工事を計画的に進めるとともに、事故防止に努める。	①各種校内研修（OJT）、事故防止会議を充実させる。 ②生徒の防災意識を高める。 ③耐震化工事を関係機関と十分な連絡調整を行い、安全に推進する。	①各種校内研修及び事故防止会議において事故防止に向けた意識の向上・啓発を図り、教職員が前向きに課題に取り組む。 ②目的を明確にした防災訓練を実施し、生徒及び職員の動きを確認するとともに、より実践的な防災意識を高める。 ③西棟の耐震化工事を安全に推進する。仮設校舎から西棟への移転を計画的に進める。	①各種校内研修5回及び事故防止会議10回以上を実施する。 ②計画通りに防災訓練を実施することができ、生徒及び職員の防災意識は高まったか。また、災害発生時想定される状況に対応できる知識や技術が身に付いたか。 ③関係機関と連携しながら、校内移転及び耐震化工事が計画的かつ安全に実施できたか。

